

語彙力『使って覚える言葉』見本集

1年生 見本：ステップ1（P1～P6）、ステップ2 7（P157～P162）
全310ページ ステップ1～ステップ5 2

2年生 見本：ステップ1（P1～P4）、ステップ2 7（P105～P108）
全208ページ ステップ1～ステップ5 2

3年生 見本：ステップ1（P1～P4）、ステップ2 7（P105～P108）
全208ページ ステップ1～ステップ5 2

4年生 見本：ステップ1（P1～P4）、ステップ2 7（P105～P108）
全208ページ ステップ1～ステップ5 2

5年生 見本：ステップ1（P1～P4）、ステップ2 7（P105～P108）
全208ページ ステップ1～ステップ5 2

6年生 見本：ステップ1（P1～P3）、ステップ2 7（P80～P82）
全157ページ ステップ1～ステップ5 2

お問合せは

株式会社 エジソンクラブ

〒175-0091

東京都板橋区徳丸 5-5-16

T E L : 03-5383-5415

F A X : 03-5383-5039

H P : <http://www.ejisonclub.jp>

e-mail : support@ejisonclub.co.jp

語彙力

「使って覚える言葉」

一年生 ステップ1～52

なまえ	
-----	--

使つかって覚おぼえることば

ステップ1

1 あいだ (間あいだ) 「名詞めいし めいし」

〈意味いみ〉ふたつのものにはさまれたところ。

二かいよむ

〈例文れいぶん〉二けんnoいえのあいだに いけがある。

二かいよむ

二けんnoいえのあいだに いけがある。

2 あおぞら (青空あおぞら) 「名詞めいし めいし」

〈意味〉あおくはれたそら。

二かいよむ

〈例文〉あおぞらにむかってしんこきゅうをする。

二かいよむ

あおぞらにむかってしんこきゅうをする。

3 あかちやん (赤ちやん あかちやん)〔名詞 めいし〕

〈意味〉うまれてから一年ぐらいまでの子ども。

、
、
二かいよむ

〈例文〉あかちやんの手は もみじみたいだ。

、
、
二かいよむ

あかちやんの手は もみじみたいだ。

4 あくしゅ (握手^{あくしゅ} あくしゅ)〔名詞 めいし〕

〈意味〉手をにぎりあう。

、
、
二かいよむ

〈例文〉あくしゅして なかなおりした。

、
、
二かいよむ

あくしゅして なかなおりした。

5 あう (合^あう あう) [動詞^{どうし} どうし]

〈意味〉一つになる。同じになる。

〈例文〉いけんが あう。

いけんが あう。

、 二かいよむ
、

6 あける (開^あける あける) [動詞^{どうし} どうし]

〈意味〉とじていたものを ひらく。

〈例文〉とを あける。

とを あける。

、 二かいよむ
、

7 あそぶ (遊^{あそ}ぶ) あそぶ (動詞 どうし)

〈意味〉すきなことをしてたのしむ。

〈例文〉ゲームをしてあそぶ。

ゲームをしてあそぶ。

、 二かいよむ
、

、 二かいよむ
、

8 あおい (青^{あお}い) あおい (形^{けい}容^{よう}詞^し) けいようし

〈意味〉はれたそらのようないろをしている。

〈例文〉うみが あおい。

、 二かいよむ
、

、 二かいよむ
、

うみが あおい。

9 いきなり (いきなり) [副詞 ふくし]

〈意味〉きゆうに。とつぜん。

、
、
ニかいよむ

〈例文〉車のまえにいきなりこどもがとび出した。

、
、
ニかいよむ

車のまえにいきなりこどもがとび出した。

10 いろいろだ (いろいろだ) [形容動詞 けいようどうし]

〈意味〉しゆるいがおおいようす。さまざま。

、
、
ニかいよむ

〈例文〉いろいろなはなしをきいた。

、
、
ニかいよむ

いろいろなはなしをきいた。

上の文につづく文を下からえらんでかきましよう。

二けんの いえの	あいだにいけがある。
あおぞらに むかって	
あかちゃん の手は	
あくしゅ して	
いけんが	
とを	

なかなかおりした。
あう。
あいだにいけがある。
もみじみたいだ。
あける。
しんこきゅうをする。

使つかって覚おぼえることば

ステップ27

一 しょうじ (障しょうじ子) しょうじ) 「名詞 めいし」

〈意味〉へやのしきりや、あかりとりにするたてぐ。

〈例文〉しょうじをはりかえするじきだ。

二かいよむ

二かいよむ

しょうじをはりかえするじきだ。

2 しろ (白しろ) 「名詞 めいし」

〈意味〉ゆきのようないろ。

〈例文〉白一しよくのなんきよく大りく。

二かいよむ

二かいよむ

白一しよくのなんきよく大りく。

3 しんぱい (心配) しんぱい) [名詞 めいし]

〈意味〉気がかり。ふあん。

、
、
ニかいよむ

〈例文〉しけんのけっかをしんぱいする。

、
、
ニかいよむ

しけんのけっかをしんぱいする。

4 すうじ (数字) すうじ) [名詞 めいし]

〈意味〉かずをあらわす文字。

、
、
ニかいよむ

〈例文〉すう字の6をさかさになると9になる。

、
、
ニかいよむ

すう字の6をさかさになると9になる。

5 つなぐ (繋^{つな}ぐ) つなぐ [動詞 どうし]

〈意味〉ものとものをむすぶ。

〈例文〉きれた糸をつなぐ。

きれた糸をつなぐ。

、 二かいよむ
、

6 つむ (積^つむ) つくる [動詞 どうし]

〈意味〉上にかさねる。

〈例文〉本をつむ。

本をつむ。

、 二かいよむ
、

7 できる (出来る^てできる) 「動詞 どうし」

〈意味〉し上がる。かんせいする。

〈例文〉しゅくだいが出きた。

しゅくだいが出きた。

、
、
ニかいよむ

、
、
ニかいよむ

8 はやい (早い^{はや}はやい) 「形容詞 けいようし」

〈意味〉じこくがまえである。

〈例文〉あさがはやい。

あさがはやい。

、
、
ニかいよむ

、
、
ニかいよむ

9 また (又^{また} また) 「副詞 ふくし」

〈意味〉おなじく。やっぱり。

〈例文〉これもまたむずかしい。

これもまたむずかしい。

10 ふいだ (ふいだ) 「形容動詞 けいようどうし」

〈意味〉おもいがけないこと。とつぜん。

〈例文〉くさむらからふいにとりがとびたつた。

くさむらからふいにとりがとびたつた。

上の文につづく文を下からえらんでかきましよう。

しょうじを	はりかえするじきだ。
白一しよくの	
しけんの	
すうじのろを	
きれた糸を	
本を	

さかきにするど9になる。
はりかえするじきだ。
つむ。
なんきよく大りく。
けっかをしんぱいする。
つなぐ。

田中メソッドの国語教材

語彙力

「使って覚える言葉」

二年生 ステップ1～52

名前	
----	--

使おほって覚おぼえることば

ステツプ1

1 あいて (相手 あいて) 「名詞 めいし」

〈意味〉自分といっしょに ものごとをする人。
二かいよむ

〈例文〉ぼくは、兄のしょうぎの相手をした。
二かいよむ

2 あき (秋 あき) 「名詞 めいし」

〈意味〉しきの一つ。九・十・十一月ごろ

〈例文〉くりひろいは、秋になってから行く。
二かいよむ

3 あさ (朝 あさ) 「名詞 めいし」

〈意味〉夜が明けてからしばらくの間。

〈例文〉父は、朝さんぽをします。
二かいよむ

4 あせ (汗 あせ) 「名詞 めいし」

〈意味〉あついときや、運動して体の表面に出る水分。

ニかいよむ

〈例文〉母は、へやのそうじであせをかく。

ニかいよむ

5 あう (会う あう) 「動詞 どうし」

〈意味〉人と顔をあわせる。面会する。

ニかいよむ

〈例文〉会ったときにはなそう。

ニかいよむ

6 あたる (当たる あたる) 「動詞 どうし」

〈意味〉ねらったとおりになる。

ニかいよむ

〈例文〉てんきよほうがあたり、雨がふる。

ニかいよむ

7 あつめる (集める あつめる)

「動詞 どうし」

〈意味〉人やものを一ヶ所によせる。

ニかいよむ

〈例文〉先生がせいとを集める。

ニかいよむ

8 あかい (赤い あかい)

〔形容詞 けいようし〕

〈意味〉 血やもえる火のような色。

ニかいよむ

〈例文〉 赤い夕日がしずむ。

ニかいよむ

10 いっきに (一気に いっきに)

〔動詞 どうし〕

〈意味〉 いっぺんに。ひといきに。

ニかいよむ

〈例文〉 いっきに宿題をかたづけした。

ニかいよむ

9 あわれだ 〔形容動詞 けいようどうし〕

〈意味〉 かわいそうなこと。

ニかいよむ

〈例文〉 あわれな身の上。

ニかいよむ

上の文につづく文を下からえらんで書きましよう。

ぼくは、兄の	
くりひろいは、	
父は、朝	
母は、へやの	
会ったときに	
てんきよほうが	
先生がせいとを	
赤い夕日が	
あわれな	
いつきに宿題を	

さんぽをします。
そうじであせをかく。
はなそう。
秋になってから行く。
しろうぎの相手をした。
集める。
身の上。
かたづけた。
あたり、雨がふる。
しずむ。

使おほって覚おぼえることば

ステップ27

1 しよつき (食器 しよつき) 「名詞 めいし」

〈意味〉食いじの時みに使いう道みちぐ。

〈例文〉テいーブルぶルるに食くきををならべる。
、
、

2 しらせ (知らせ しらせ) 「名詞 めいし」

〈意味〉知しらせること。通つう知ち。

〈例文〉クくラらスす会かいの知しらせがある。

3 しろくま (白熊 しろくま) 「名詞 めいし」

〈意味〉北きたきよく地ち方はにすむ毛けが白い大おほがたのクくマ。

〈例文〉ここおおりがととけてししろろくくまのすすむとこころが少すくなくなる。
、
、

4 しんぶん (新聞 しんぶん) 「名詞 めいし」

〈意味〉社しゃ会かいの出来きごとを、知しらせるためのいんさつぶつ。

〈例文〉新しん聞ぶんは朝あ早はくとどく。

5 むちゅう (夢中 むちゅう) 「名詞 めいし」

〈意味〉あることにねっ中すること。
ニかいよむ

〈例文〉犬におわれてむ中でにげた。
ニかいよむ

7 ちらす (散らす ちらす) 「動詞 どうし」

〈意味〉ばらばらにとばす。
ニかいよむ

〈例文〉風がサクラの花をちらす。
ニかいよむ

6 ちぎる (千切る ちぎる) 「動詞 どうし」

〈意味〉手で細かく切る。
ニかいよむ

〈例文〉パンを千切って食べる。
ニかいよむ

8 つかまる (捕まる つかまる)

〈意味〉①とらえられる。
ニかいよむ

〈例文〉おににつかまる。
ニかいよむ

つかまる (掴まる つかまる)

〔動詞 どうし〕

〈意味〉②手でものにとりすがる。

ニかいよむ

〈例文〉電車のつりかわにつかまる。

ニかいよむ

10 なるほど (なるほど) 〔副詞 ふくし〕

〈意味〉聞いていた通り。本当に。

ニかいよむ

〈例文〉東京はなるほど人間が多い。

ニかいよむ

9 けたたましい (けたたましい)

〔形容詞 けいようし〕

〈意味〉かん高い音や声がするようす。

ニかいよむ

〈例文〉サイレンがけたたましくなる。

ニかいよむ

上の文につづく文を下からえらんで書きましよう。

テーブルに

クラス会の

こおりがとけて

新聞は朝早く

犬におわれて

パンを

風がサクラの

おにに

サイレンが

東京はなるほど

とどく。

食きをならべる。

む中でにげた。

しろくまのすむところ
ろが少なくなる。

知らせがある。

花をちらす。

人間が多い。

千切って食べた。

つかまる。

けたたましくなる。

田中メソッドの国語教材

語彙力

「使って覚える言葉」

三年生 ステップ1～52

名前	
----	--

使って覚えることば

ステップ1

1 あいさつ (挨拶 あいさつ) 「名詞 めいし」

〈意味〉人と会ったとき、取り交わすことばや動作。

〈例文〉「こんにちは」もあいさつの一つです。

二かいよむ

2 あしもと (足元 あしもと) 「名詞 めいし」

〈意味〉立っている足のあたり。

二かいよむ

〈例文〉暗いから足元に気をつけなさい。

二かいよむ

3 あぶら (油 あぶら) 「名詞 めいし」

〈意味〉植物のたねや石油からとれる液体。

〈例文〉てんぷらは、あぶらであげます。

二かいよむ

二かいよむ

4 いいん (委員 いいん) 「名詞 めいし」

〈意味〉選ばれ、代表として役目をまかされている人。

二かいよむ

〈例文〉ぼくは、クラスの委員にえらばれた。

二かいよむ

5 あえる (会える あえる) 「動詞 どうし」

〈意味〉 会うことができる。

二かいよむ

〈例文〉 また会える日まで元気だね。

二かいよむ

6 あく (開く あく) 「動詞 どうし」

〈意味〉 閉じていたものがひらく。

二かいよむ

〈例文〉 幕が開く。

二かいよむ

7 あく (空く あく) 「動詞 どうし」

〈意味〉 ①中のものがからになる。

二かいよむ

〈例文〉 空いた箱を利用する。

二かいよむ

〈意味〉 ②すきまができる。

二かいよむ

〈例文〉 席が空く。

二かいよむ

8 あいらしい (愛らしい あいらしい)

「形容詞 けいようし」

〈意味〉 かわいらしい。

二かいよむ

〈例文〉 赤ちゃんの愛らしい手。

二かいよむ

9 あわれだ (哀れだ あわれだ)

〔形容動詞 けいようどうし〕

〈意味〉 かわいそうなこと。

、
、
二かいよむ

〈例文〉 あわれな身の上。

、
、
二かいよむ

10 あらためて (改めて あらためて)

〔副詞 ふくし〕

〈意味〉 やりなおして。もう一度。

、
、
二かいよむ

〈例文〉 あらためてうかがいます。

、
、
二かいよむ

上の文につづく文を下からえらんで書きましよう。

「こんにちは」も	
暗いから足元に	
てんぷらは、	
ぼくは、クラスの	
また会える日まで	
幕が	
空いた箱を	
席が	
赤ちゃんの	
あわれな	
あらためて	

委員にえらばれた。
あいさつの一つです。
元気でね。
あぶらであげます。
気をつけなさい。
うかがいます。
愛らしい手。
利用する。
開く。
空く。
身の上。

使って覚えることば

ステツプ27

1 せんぞ (先祖 せんぞ) 「名詞 めいし」

〈意味〉家けいの一歩初めの人。

ニかいよむ

〈例文〉うちの先ぞは四国の人だった。

ニかいよむ

2 せんたく (洗濯 せんたく) 「名詞 めいし」

〈意味〉よごれた衣服などをあらってきれいにする事。

〈例文〉くつ下をせんたくする。

ニかいよむ

3 せんちよう (船長 せんちよう) 「名詞 めいし」

〈意味〉船全体のせきにんを持ち、船員を仕切る人。

ニかいよむ

〈例文〉いつか、大型船の船長になりたい。

ニかいよむ

4 せんろ (線路 せんろ) 「名詞 めいし」

〈意味〉列車や電車の通る道。

ニかいよむ

〈例文〉線路を横切るときは左右をよく見ること。

ニかいよむ

5 つく (付く つく) 「動詞 どうし」

〈意味〉①はなれなくなる。

、
、
ニかいよむ

〈例文〉のりがつく。

、
、
ニかいよむ

〈意味〉②しるしがのこる。

、
、
ニかいよむ

〈例文〉あとがつく。

、
、
ニかいよむ

〈意味〉③あるものにつけくわわる。

、
、
ニかいよむ

〈例文〉じょうけんがつく。

、
、
ニかいよむ

〈意味〉④そなわる。

、
、
ニかいよむ

〈例文〉学力がつく。

、
、
ニかいよむ

6 つくる (造る とおりぬける) 「動詞 どうし」

〈意味〉舟や家などをこしらえる。

、
、
ニかいよむ

〈例文〉庭にはなれをつくる。

、
、
ニかいよむ

7 つづける (続ける) つづける 「動詞 どうし」

〈意味〉①同じじょうたいですつと行う。 二かいよむ

〈例文〉む理な練習をつづければ体をこわす。 二かいよむ

〈意味〉②つなげる。 二かいよむ

〈例文〉い間と台所をつづける。 二かいよむ

8 つたない (拙い) つたない

「形容詞 けいようし」

〈意味〉まずい。下手だ。 二かいよむ

〈例文〉つたない文しように書く。 二かいよむ

9 むだだ (無駄だ) むだだ

「形容動詞 けいようどうし」

〈意味〉役に立たないこと。 二かいよむ

〈例文〉時間をむだにしたくない。 二かいよむ

10 どうぞ (どうぞ) 「副詞 ふくし」

〈意味〉物をすすめたり、たのんだりする時に使う言葉。 二かいよむ

〈例文〉どうぞ一度お出かけください。 二かいよむ

上の文につづく文を下からえらんで書きましよう。

うちの先ぞは	
くつ下を	
いつか、大型船の	
線路を横切るときは	
のりが	
庭にはなれを	
む理な練習を	
い間と	
つたない	
時間をむだに	
どうぞ一度	

船長になりたい。 つく。
せんたくする。
四国の人だった。
左右をよく見ること。
台所をつづける。
つくる。
したくない。
文しようを書く。
お出かけください。
つづけければ体をこわす。

田中メソッドの国語教材

語彙力

「使って覚える言葉」

四年生 ステップ1～52

名前	
----	--

使って覚えることば

ステップ1

1 あいず (合図 あいず) 「名詞 めいし」

〈意味〉前もって決めたやり方で、互いに知らせ合うこと。

〈例文〉正午の時報を合図に、午前の授業が終わる。

二かいよむ
二かいよむ

2 あか (赤 あか) 「名詞 めいし」

〈意味〉血や、もえている火のような色。

〈例文〉消ぼう車の色は赤です。

二かいよむ
二かいよむ

3 あと (跡 あと) 「名詞 めいし」

〈意味〉過ぎ去ったあとに残るしるし。

〈例文〉この工作には、苦心の跡がよく見える。

二かいよむ
二かいよむ

4 がい (以外 がい) 「名詞 めいし」

〈意味〉それよりほか。

〈例文〉水以外は飲んだり食べたりしてはいけない。

二かいよむ
二かいよむ

5 あがる (挙がる あがる) 「動詞 どうし」

〈意味〉①人に知られるようになる。

〈例文〉名が挙がる。

二かいよむ
二かいよむ

〈意味〉②捕まえられる。

〈例文〉犯人が挙がる。

二かいよむ
、
二かいよむ
、

6 あきる (飽きる あきる) 「動詞 どうし」

〈意味〉①じゅうぶんすぎて、それ以上ほしくない。

〈例文〉ごちそうをあきるほど食べる。

二かいよむ
、
二かいよむ
、

〈意味〉②いやになる。

〈例文〉勉強にあきる。

二かいよむ
、
二かいよむ
、

7 あずかる (預かる あずかる) 「動詞 どうし」

〈意味〉①頼まれて、物をおいておく。

〈例文〉荷物を預かる。

二かいよむ
、
二かいよむ
、

〈意味〉②責任をもって、いっさいを引き受ける。二かいよむ
、
、
二かいよむ
、

〈例文〉留守を預かる。

8 あいくるしい (愛くるしい あいくるしい)

「形容詞 けいようし」

〈意味〉たいへんかわいらしい。

〈例文〉愛くるしい目をした人形。

二かいよむ
、
二かいよむ
、

9 あたりまえだ (当たり前だ あたりまえだ)

「形容動詞 けいようどうし」

〈意味〉分かりきっていること。当然。

〈例文〉電車で老人に席をゆずるのは当たり前。

二かいよむ
、
二かいよむ
、

10 あおあお (青々 あおあお) [副詞 ふくし]

〈意味〉たいへん青いようす。

二
、
、
かいよむ

〈例文〉高原の青々した野菜畑。

二
、
、
かいよむ

上の文に続く文を下から選んで書きましよう。

正午の時報を合図に、	
消ぼう車の色は	
この工作には、	
水以外は飲んだり	
名が	
ごちそうを	
勉強に	
荷物を	
愛くるしい	
電車で老人に席を	
高原の青々した	

苦心の跡がよく見える。
食べたりにしてはいけない。
午前の授業が終わる。
拳がる。
赤です。
預かる。
野菜畑。
ゆずるのは当たり前。
あきるほど食べる。
目をした人形。
あきる。

使って覚えることば

ステップ27

1 さいしよ (最初 さいしよ) [名詞 めいし]

〈意味〉いちばんはじめ。

〈例文〉日本で最初の鉄道。

、
、
ニかいよむ

、
、
ニかいよむ

2 さけ (酒 さけ) [名詞 めいし]

〈意味〉アルコール分の入った飲み物。

〈例文〉酒をのんで車を運転してはいけない。

、
、
ニかいよむ

、
、
ニかいよむ

3 さつぷうけい (殺風景 さつぷうけい)

[名詞 めいし]

〈意味〉おもしろみや、おもむきのない様子。

〈例文〉殺風景なへやに絵をかける。

、
、
ニかいよむ

、
、
ニかいよむ

4 さむさ (寒さ さむさ) [名詞 めいし]

〈意味〉気温が低くて寒いこと。

〈例文〉寒さがきびしい。

、
、
ニかいよむ

、
、
ニかいよむ

5 たくしあげる (たくし上げる) たくしあげる

〔動詞 どうし〕

〈意味〉そでやすそを、手でまくりあげる。

、
、
ニかいよむ

〈例文〉シャツのそでをたくし上げる。

、
、
ニかいよむ

6 たてる (建てる) たてる 〔動詞 どうし〕

〈意味〉家やビルなどを作る。

、
、
ニかいよむ

〈例文〉ビルを建てる。

、
、
ニかいよむ

7 ためる (貯める) ためる 〔動詞 どうし〕

〈意味〉①使わないで集めておく。

、
、
ニかいよむ

〈例文〉お金を貯める。

、
、
ニかいよむ

〈意味〉②ほおっておいて、ふえる。

、
、
ニかいよむ

〈例文〉新聞代をためる。

、
、
ニかいよむ

8 つつましい (慎ましい) つつましい 〔形容詞 けいようし〕

〈意味〉遠りよ深く、つつしみ深い。ひかえめである

、
ニかいよむ

〈例文〉つつましくお祝いする。

、
、
ニかいよむ

9 まじめだ (真面目だ) まじめだ

〔形容動詞 けいようどうし〕

〈意味〉①本気なこと。しんけんであること。

〈例文〉これはまじめな話だ。

ニかいよむ

〈意味〉②まごころのあること。

〈例文〉性かくがまじめだ。

ニかいよむ

10 どっしり (どっしり) 〔副詞 ふくし〕

〈意味〉①重みがあるようす。ずっしり。

〈例文〉どっしりした本。

ニかいよむ

〈意味〉②落ち着いて、重々しいようす。

〈例文〉いすにどっしりとすわっている。

ニかいよむ

上の文に続く文を下から選んで書きましよう。

日本で	
酒をのんで車を	
殺風景なへやに	
寒さが	
シャツのそでを	
ビルを	
お金を	
つつましく	
これは	
どっしり	
いすにどっしりと	

きびしい。
最初の鉄道。
たくし上げる。
絵をかける。
運転してはいけない。
まじめな話だ。
すわっている。
貯める。
建てる。
した本。
お祝いする。

田中メソッドの国語教材

語彙力

「使って覚える言葉」

五年生 ステップ1～52

名前	
----	--

使って覚えることば

ステップ1

1 あんない (案内 あんない) 「名詞 めいし」

〈意味〉①場所を知らない人をそこへ連れて行くこと。

二かいよむ

〈例文〉道を聞かれたので案内した。

二かいよむ

〈意味〉②知らせ。通知。

二かいよむ

〈例文〉入学案内。案内状。

二かいよむ

2 いし (意思 いし) 「名詞 めいし」

〈意味〉思っていること。考え。

二かいよむ

〈例文〉賛成の意思を表す。

二かいよむ

3 いじ (意地 いじ) 「名詞 めいし」

〈意味〉①自分の考えをどこまでも通そうとする気持ち。

二かいよむ

〈例文〉自分の信念を曲げずに、意地を通した。

二かいよむ

〈意味〉②人の性質。

二かいよむ

〈例文〉意地が悪い。

二かいよむ

4 いしき (意識 いしき) 「名詞 めいし」

〈意味〉①まわりの物事がはっきりわかる心のはたらき。

、ニかいよむ

〈例文〉頭を打って意識を失う。

、ニかいよむ

〈意味〉②気付くこと。気にとめること。

、ニかいよむ

〈例文〉自分の短所を意識する。

、ニかいよむ

5 あいする (愛する あいする) 「動詞 どうし」

〈意味〉①大切にする。

、ニかいよむ

〈例文〉自然を愛する。

、ニかいよむ

〈意味〉②好んで親しむ。

、ニかいよむ

〈例文〉音楽を愛する。

、ニかいよむ

〈意味〉③心が引かれる。

、ニかいよむ

〈例文〉クラスの誰からも愛されている子。

、ニかいよむ

6 あがる (揚がる あがる) 「動詞 どうし」

〈意味〉①上に高く上る。

、ニかいよむ

〈例文〉花火が揚がる。

、ニかいよむ

〈意味〉②揚げ物ができあがる。

、ニかいよむ

〈例文〉イカのとんぷらが揚がった。

、ニかいよむ

7 あきらめる (諦める あきらめる) 「動詞 どうし」

〈意味〉もうだめだと思う。

〈例文〉ぼくは最後まで諦めない。

二かいよむ
二かいよむ

8 あくどい 「形容詞 けいようし」

〈意味〉①色や味などがどぎつく、感じが悪い。

〈例文〉柄があくどくて品が悪い。

二かいよむ
二かいよむ

〈意味〉②ひどい。たちが悪い。

〈例文〉あくどいいたずらをする。

二かいよむ
二かいよむ

9 あけすけだ (明け透けだ あけすけだ)

「形容動詞 けいようどうし」

〈意味〉かくしだてをしない様子。

〈例文〉あけすけにもものを言う。

二かいよむ
二かいよむ

10 あまり 「副詞 ふくし」

〈意味〉そんなに。たいして

〈例文〉あの番組はあまりおもしろくない。

二かいよむ
二かいよむ

上の文に続く文を下から選んで書きましよう。

道を聞かれたので	
賛成の	
自分の信念を曲げずに、	
自分の短所を	
クラスの誰からも	

イカのてんぷらが	
ぼくは最後まで	
あくどい	
柄があくどくて	
あけすけに	
あの番組はあまり	

愛されている子。
意識する。
意思を表す。
案内した。
意地を通した。

品が悪い。
おもしろくない。
諦めない。
ものを言う。
いたずらをする。
揚がった。

使って覚えることば

ステップ27

しいたけ (椎茸 しいたけ) 「名詞 めいし」

〈意味〉ナラやシイの木に生えるキノコ。

二かいよむ

〈例文〉しいたけのでんぷらはおいしい。

二かいよむ

2 しきい (敷居 しきい) 「名詞 めいし」

〈意味〉戸やふすまを動かすための下側の横木。

二かいよむ

〈例文〉しきいが高い。

二かいよむ

3 しきし (色紙 しきし) 「名詞 めいし」

〈意味〉和歌や俳句などを書く四角い厚い紙。

二かいよむ

〈例文〉和歌を色紙に書く。

二かいよむ

4 じこ (事故 じこ) 「名詞 めいし」

〈意味〉思いがけなく起こる悪い出来事。

二かいよむ

〈例文〉事故で電車がおくれる。

二かいよむ

5 すえる (据える すえる) 「動詞 どうし」

〈意味〉①物を置く。

、ニかいよむ

〈例文〉工場に機械をすえる。

、ニかいよむ

〈意味〉②ある地位や役目につかせる。

、ニかいよむ

〈例文〉PTA会長にすえる。

、ニかいよむ

〈意味〉③動かないようにする。

、ニかいよむ

〈例文〉土台石をすえる。

、ニかいよむ

6 すく (好く すく) 「動詞 どうし」

〈意味〉心が引かれる。気に入る。

、ニかいよむ

〈例文〉甘いものはすかない。

、ニかいよむ

7 すぐれる (優れる すぐれる) 「動詞 どうし」

〈意味〉①ほかの物よりまさる。

、ニかいよむ

〈例文〉すぐれた作品。

、ニかいよむ

〈意味〉②晴れ晴れする。良い状態である。

、ニかいよむ

〈例文〉かぜのせいか、気分がすぐれない。

、ニかいよむ

8 どろくさい (泥臭い どろくさい)

〔形容詞 けいようし〕

〈意味〉野暮つたい。

、ニかいよむ

〈例文〉どろくさい服。

、ニかいよむ

[Empty box for notes]

9 ふかのうだ (不可能だ ふかのうだ)

〔形容動詞 けいようどうし〕

〈意味〉できないこと。

、ニかいよむ

〈例文〉実現不可能な夢。

、ニかいよむ

[Empty box for notes]

10 せっせと 〔副詞 ふくし〕

〈意味〉やすまずに熱心におこなうようす。

、ニかいよむ

〈例文〉せっせとはたらく。

、ニかいよむ

[Empty box for notes]

上の文に続く文を下から選んで書きましよう。

しいたけの	
しきいが	
和歌を	
事故で	
工場に	
甘いものは	
すぐれた	
かぜのせいか、	
どろくさい	
実現	
せつせと	

色紙に書く。
機械をすえる。
高い。
てんぷらはおいしい。
電車がおくれる。
気分がすぐれない。
不可能な夢。
服。
はたらく。
作品。
すかない。

田中メソッドの国語教材

語彙力

「使って覚える言葉」

六年生 ステップ1～52

名前	
----	--

使って覚えることば

ステツプ1

1 あしあと (足跡 あしあと) [名詞]

〈意味〉①歩いたあとに出来る足の形。

〈例文〉クマの足跡。

二かいよむ

二かいよむ

〈意味〉②過ぎ去った物事のあと。

〈例文〉一年間の生活の足跡をふり返る。

二かいよむ

二かいよむ

2 あわ (泡 あわ) [名詞]

〈意味〉液体の中に出来る小さい空気のため。あぶく。

〈例文〉カニがあわをふく。

二かいよむ

二かいよむ

3 いっしゅん (一瞬 いっしゅん) [名詞]

〈意味〉まばたきを一つするぐらいの短い時間。

〈例文〉いなびかりで夜空が一瞬明るくなった。

二かいよむ

二かいよむ

4 いっぽう (一方 いっぽう) [名詞]

〈意味〉一つの方向。

〈例文〉人の波が一方に流れる。

二かいよむ

二かいよむ

5 あう (遭う あう) [動詞]

〈意味〉物事にでくわす。ぶつかる。

〈例文〉交通事故に遭う。

二かいよむ

二かいよむ

6 あざむく (欺く あざむく) [動詞]

〈意味〉①だます。

〈例文〉友だちをあざむくのはよくない。

二かいよむ
二かいよむ

〈意味〉②見まちがえる。

〈例文〉ナイターの球場は昼をあざむく明るさだ。

二かいよむ
二かいよむ

7 あしらう [動詞]

〈意味〉①応答する。

〈例文〉店員が客を上手にあしらう。

二かいよむ
二かいよむ

〈意味〉②いいかげんにあつかう。

〈例文〉馬鹿にされていいかげんにあしらわれた。

二かいよむ
二かいよむ

8 あおじろい (青白い あおじろい) [形容詞]

〈意味〉青色がかって白い。

〈例文〉窓から青白い月光が差し込む。

二かいよむ
二かいよむ

9 あんいだ (安易だ あんいだ) [形容動詞]

〈意味〉①難しくないこと。

〈例文〉安易な方法を選ぶ。

二かいよむ
二かいよむ

〈意味〉②気軽に考えること。

〈例文〉将来を安易に考えるな。

二かいよむ
二かいよむ

10 あいからわず (相変わらず あいからわず) [副詞]

〈意味〉いつもと同じように。

〈例文〉相変わらず元気だ。

二かいよむ
二かいよむ

上の文に続く文を下から選んで書きましよう。

一年間の生活の	
カニが	
いなびかりで夜空が	
人の波が	
交通事故に	
友だちを	
ナイターの球場は昼を	
店員が客を	
馬鹿にされて	
窓から青白い	
安易な	
相変わらず	

一方に流れる。
あざむくのはよくない。
遭う。
足跡をふり返る。
あわをふく。
一瞬明るくなった。
いいかげんにあしらわれた。
元気だ。
方法を選ぶ。
上手にあしらう。
あざむく明るさだ。
月光が差し込む。

使って覚えることば

ステップ27

1 じゅうご(や) (十五夜 じゅうご(や)) [名詞]

〈意味〉 いんれき八月十五日の夜。

〈例文〉 十五夜に見る中秋の名月。

二かいよむ

二かいよむ

2 しゅうせい (修正 しゅうせい) [名詞]

〈意味〉 間ちがいや正しくないところを正しく直すこと。

〈例文〉 字の誤りを修正する。

二かいよむ

二かいよむ

3 しゅうぶんのひ (秋分の日 しゅうぶんのひ) [名詞]

〈意味〉 秋のひ岸の中日。昼と夜の長さがほぼ同じ。

〈例文〉 秋分の日は国民の休日です。

二かいよむ

二かいよむ

4 しゅけんざいみん (主権在民 しゅけんざいみん) [名詞]

〈意味〉 主権が国民にあるという考え方。

〈例文〉 現憲法で主権在民がうたわれた。

二かいよむ

二かいよむ

5 さがす (探す さがす) [動詞]

〈意味〉 わからなくなったものをたずねもとめる。

〈例文〉 落とし物をさがす。

二かいよむ

二かいよむ

6 さぐる (探る さぐる) [動詞]

〈意味〉①さがしてたずねる。

〈例文〉フジの名所をさぐる。

二かいよむ
二かいよむ

Empty box for writing.

〈意味〉②こっそりと調べる。

〈例文〉敵のようすをさぐる。

二かいよむ
二かいよむ

Empty box for writing.

7 さしあげる (差し上げる さしあげる) [動詞]

〈意味〉手などにもって高くあげる。

〈例文〉バーベルを差し上げる。

二かいよむ
二かいよむ

Empty box for writing.

8 なにげない (何気ない なにげない) [形容詞]

〈意味〉とくに深い考えもない。

〈例文〉何気なく外に出たら、友に会った。

二かいよむ
二かいよむ

Empty box for writing.

9 ひつようだ (必要だ ひつようだ) [形容動詞]

〈意味〉どうしてもいること。

〈例文〉話し合う必要がある問題。

二かいよむ
二かいよむ

Empty box for writing.

10 どうやら [副詞]

〈意味〉どうかにか。やっと。

〈例文〉どうやら雨もやんだようだ。

二かいよむ
二かいよむ

Empty box for writing.

上の文に続く文を下から選んで書きましよう。

十五夜に見る	
字の誤りを	
秋分の日は	
現憲法で	
落し物を	
フジの名所を	
敵のようすを	
バーベルを	
何気なく外に	
話し合う	
どうやら雨も	

修正する。	
主権在民がうたわれた。	
さぐる。	
中秋の名月。	
国民の休日です。	
さがす。	
差し上げる。	
さぐる。	
必要がある問題。	
やんだようだ。	
出たら、友に会った。	